

タイトル「**2021年度スポーツ科学部(公開用_コロナ対策版)**」、フォルダ「**スポーツ科学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	SSCS4605		
科目名	ゼミナール I		
担当教員	青山 亜紀		
対象学年	3年,4年	開講学期	前期
曜日・時限	火 4		
講義室	1312	単位区分	必
授業形態	演習	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 D P 3－G（状況把握力・判断力）自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 D P 4－F（探究力・課題解決力）問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 D P 4－I（理解力・分析力）文章表現、数値データを適切に扱いつつ、情報の収集と取捨選択、分析と加工を有効かつ円滑に行い、課題の解決につなげることができる。 D P 5－J（創造的挑戦力・達成力）コンピテンスの開発を生涯にわたり継続して行うことを、自らの思考及び行動のパターンとするとともに、既存のアイデアを革新的かつ創造的に統合し、リスクをとりながら、結果に結び付けることができる。 D P 8－M（省察力）知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状態に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード 学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 F 1 探究と論拠（25%） G 1 状況把握（25%） I 1 理解・分析と読解（20%） I 3 情報分析（10%） J 2 創造的思考（10%） M 1 統合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験			
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	学生が興味関心の高い分野を選択し、講読・調査・報告・議論などを行うことによって、研究を進める上での基礎知識、研究方法を学びます。ゼミナール I では、グループで課題を設定し、共同で研究を進めることで、互いに知識を修得していくことを目的とします。ここでは、学生自身が興味関心のある課題やそれに関わる種々の問題について、基礎的な理解を深め、それらについてプレゼンテーションを行う準備を整えます。授業形態は、演習形式により行います。なお、授業を補充・代替するためオンライン授業（ライブ配信型）を取り入れます。 ■キーワード：研究、省察、反省的实践家		
授業の趣旨	■副題 スポーツ科学に関する研究計画立案および実践 ■授業の目的 学修した内容を基に自身もしくはグループでの研究計画に関する議論から適切な方法を選択することができることを目的とします。 ■授業のポイント 「試合に向けた競技力の形成および試合での競技力発揮」について、トレーニング学的観点から検討するための基本的知識と方法論を学習します。理論的ベースを深めたうえで、実際の現場で生じている問題をグループでの調査・議論を通して検討することを目的とします。		
総合到達目標	■「試合に向けた競技力の形成および試合での競技力発揮」についてトレーニング学的観点から検討するために、トレーニング学的研究の基礎的知識と方法論を修得する。 ・トレーニング学的研究を行う上での基礎的知識および方法論について説明することができる。（第1回～3回） ・近年の研究動向を分析することで、「試合に向けた競技力形成および試合での競技力発揮」における今日の課題を抽出することができる。（第4回～6回、第10回～11回） ・グループでの調査・議論を通して、課題を達成するための方法について検討することができる。（第7回～9回、第12回～15回）		
成績評価方法	■リアクションペーパー（30%）適用ルーブリック：G1・J2 （評価の観点）他者の発表や研究方法に関する内容など当該授業内容について授業終盤にリアクションペーパーの記載を実施し内容を評価します。 （フィードバック方法）授業時間中に解説を行います。 ■プレゼンテーション資料2回（70%）適用ルーブリック：F1・G1・I1・I3・J2・M1		

	(評価の観点) 自身もしくはグループで検討してきた問題について論理的にまとめることができるか確認をします。 (フィードバック方法) 授業時間中に解説を行います。	
履修条件	2年次にトレーニング計画論 (SSCS2321)、3年次にトレーニング計画論演習 (SSCS3611) を履修すること。試合論 (SSCS2318) を履修していることが望ましい。	
履修上の注意点	特にありません。	
授業内容	回	内容
	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業の進め方や評価について説明を行い、授業の概要やその方法について理解し (I 1)、授業でどのような内容を学ぶかについての準備を行う。 ③予習 (120分) シラバスを読み、授業の流れについて確認しておく。 ④復習 (120分) ガイダンスによって説明された内容を踏まえ再度シラバスを確認し授業概要を確認しておく。
	2	①授業テーマ 研究とは何か ②授業概要 コーチング学研究法演習で展開された研究の意義や、その領域について再度確認し (F 1、G 1、I 1)、ゼミナールで学習する研究領域やその研究方法について検討する (F 1、J 2)。 ③予習 (120分) コーチング学研究法演習の研究の概要に関する授業資料を読み返し整理しておくこと。 ④復習 (120分) 自身およびグループでのゼミナールにおける課題に対する適切な研究方法について検討しておく。
	3	①授業テーマ 論文作成の基礎的知識 ②授業概要 研究成果をまとめる方法論について学習 (I 1) し、論文作成の基本的方法を説明することができる (F 1、J 2)。 ③予習 (120分) コーチング学研究法演習で学習した内容について確認しておく。 ④復習 (120分) 「コーチング学への招待」第5章を読んでくる。
	4	①授業テーマ 研究動向と関連論文の紹介 ②授業概要 「試合での最高の競技力発揮」に関する先行研究のレビューから、近年の研究の動向を確認し説明することができる (F 1、I 1、I 3)。 ③予習 (120分) 「コーチング学への招待」第5章を読んでくる。 ④復習 (120分) 本日学習した先行研究のレビューから、自身の興味のある問題について整理しておく。
	5	①授業テーマ 文献研究①―「試合に向けた競技力の形成」について ②授業概要 「試合に向けた競技力の形成」に関する先行研究について関連文献を精読する。その後グループでの議論を通してその概要を整理し説明することができるようにする (F 1、I 1、I 3)。 ③予習 (120分) 先行研究のレビューから、自分の興味のある問題について整理しておく。 ④復習 (120分) 選択した文献の研究手法や結果について整理しておく。
	6	①授業テーマ 文献研究②―「試合に向けた競技力の形成」について ②授業概要 「試合に向けた競技力の形成」に関する先行研究について関連文献を精読する (G 1、I 1)。その後グループでの議論を通してその概要を整理し説明することができるようにする (I 3)。 ③予習 (120分) 選択した文献の研究手法や結果について整理しておく。 ④復習 (120分) グループでの議論の内容を整理しておく。
	7	①授業テーマ 発表準備―「試合に向けた競技力の形成」について ②授業概要 「試合に向けた競技力の形成」について、グループでその概要を発表するための準備を行う (G 1)。 ③予習 (120分) グループでの議論の内容を整理しておく。 ④復習 (120分) グループでの議論の内容を整理し、発表の内容を確認しておく。
	8	①授業テーマ 発表―「試合に向けた競技力の形成」について ②授業概要 グループでの議論を通して整理した内容を発表する (I 1、J 2、M 1)。 ③予習 (120分) グループでの議論の内容を整理し、発表の内容を確認しておく。 ④復習 (120分) 発表した内容を再度確認し、整理しておく。
	9	①授業テーマ 「試合に向けた競技力の形成」についてのまとめ ②授業概要 「試合に向けた競技力の形成」についての理解を深めるため、グループで発表した内容について議論を行いその内容を説明することができるようになる (G 1、I 1、I 3)。 ③予習 (120分) 発表した内容を再度確認し、内容を整理してくる。 ④復習 (120分) 本日の授業でまとめられた「試合に向けた競技力の形成」における問題について、今日的課題を検討しておく。
	10	①授業テーマ 文献研究①―「試合における競技力の発揮」について ②授業概要 「試合における競技力の発揮」に関する先行研究について関連文献を精読する (F 1、I 1)。その後グループでの議論を通してその概要を整理し説明することができるようにする (G 1、J 2)。 ③予習 (120分) 先行研究のレビューから、自分の興味のある問題について整理しておく。 ④復習 (120分) 選択した文献の研究手法や結果について整理しておく。
	11	①授業テーマ 文献研究②―「試合における競技力の発揮」について ②授業概要 「試合における競技力の発揮」に関する先行研究について関連文献を精読する (F 1、I 1)。その後グループでの議論を通してその概要を整理し説明することができるようにする (G 1、J 2)。 ③予習 (120分) 選択した文献の研究手法や結果について整理しておく。 ④復習 (120分) グループでの議論の内容を整理しておく。
	12	①授業テーマ 発表準備―「試合における競技力の発揮」について ②授業概要 「試合に置ける競技力の発揮」について、グループでその概要を発表するための準備を行う (G 1)。 ③予習 (120分) グループでの議論の内容を整理しておく。 ④復習 (120分) グループでの議論の内容を整理し、発表の内容を確認しておく。
	13	①授業テーマ 発表―「試合における競技力の発揮」について ②授業概要 グループでの議論を通して整理した内容を発表する (I 1、J 2、M 1)。 ③予習 (120分) グループでの議論の内容を整理し、発表の内容を確認しておく。 ④復習 (120分) 発表した内容を再度確認し、整理しておく。
	14	①授業テーマ 「試合における競技力の発揮」についてのまとめ ②授業概要 「試合における競技力の発揮」についての理解を深めるため、グループで発表した内容について議論を行いその内容を説明することができるようになる (G 1、I 1、I 3)。

	③予習（120分）発表した内容を再度確認し、内容を整理してくる。 ④復習（120分）本日の授業でまとめられた「試合における競技力の発揮」の今日的課題を検討しておく。
15	①授業テーマ ゼミナールⅠのまとめ ②授業概要 ゼミナールⅠで行われた授業内容を振り返り、ゼミナールⅡに向けて必要な情報を整理する（G 1、 J 2）。 ③予習（120分）自身がゼミナール開始から収集、精読してきた文献に関する情報を整理しておく。 ④復習（120分）ゼミナールⅡに向けて必要な文献の整理を行っておく。
関連科目	コーチング学研究法演習（SSCS2317）と関連しています。
教科書	特にありません。
参考書・参考URL	授業時に紹介します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 火曜2限
研究比率	

